

OITA WEEKLY



[RIテーマ] 「世界に希望を生み出そう」
[地区スローガン] 「ロータリーは学び舎であり、遊び場である
そして今、ロータリーアクションは世界を変える」
[大分RCスローガン] 「We are Rotarians」

第22回例会 2024年1月30日 No. 3480

例会 / 毎週火曜日 12:30 トキハ会館4F
会長 馬場ヒロ子 / 幹事 永田悠三郎

本日のプログラム

(食事 12:20~12:40)	今週のお祝い
点 鐘 12時30分	会員誕生日 荻原 哲 会員 2月1日 大重 誠也 会員 2月2日
ロータリーソング 四つのテストの歌	
ゲスト・ビジター紹介 馬場 会長	
会長の時間 馬場 会長	卓 話 13:00
出席及び幹事報告 永田 幹事	「おもしろい話 ……」 (株)日本政策投資銀行 大分事務所長 佐野 真紀子 会員
委員会報告 関係 委員長	
ニコボックス 徳高 S.A.A.	

第21回 1月23日 例会記録

出席報告	
会員総数 (免除会員)	53名 (3)
出席総数 (免除会員)	35名 (0)
出席率	70.00%
ゲスト	0名
ビジター	2名
1月10日 修正出席率 88.24%	

会長の時間 馬場会長 “朝倉文夫と猫”

皆さんはご自宅にペットを飼っていらっしゃるでしょうか。今日は大好きな猫の姿を、まるで一つ一つ写真に撮るように塑像として残した芸術家の話をしたいと思います。

それは大分県出身で「東洋のロダン」と呼ばれた近代彫刻家 朝倉文夫です。明治16年に豊後大野市朝地町に生まれ、東京美術学校、現在の東京芸術大学に入学して彫塑を学びました。若い時から西洋的な写実表現の作品が高く評価され、早稲田大学の大隈重信像や、大分市遊歩公園の滝廉太郎像など、皆さんもすぐにその作品が目につくことと思います。竹田の高等学校では、文夫は滝廉太郎の後輩にあたり、音楽の演奏の上手な廉太郎の姿に憧れていたと言います。文夫はその後、東京芸大教授として活躍し、文化勲章を受章するなど生涯日本の近代彫刻の発展を支えました。一方で文夫は十数匹の猫を飼うほどの猫好きで、猫の作品を数多く残しています。朝地町の朝倉文夫記念館を訪れますと、首根っこをつかまれて困っている猫や、獲物に集中している猫など、今にも動き出しそうな作品が並んでおり、猫への愛情とその姿を正確に写し取ろうとした文夫の想いが同時に感じられました。

私たちの暮らしの中にも、猫の視点で海外の街を巡るテレビ番組や、猫に関わる文学などがあり猫は身近な存在です。文学ではやはり夏目漱石の「吾輩は猫である」が思い浮かびます。明治の文豪もまた猫を愛し、猫の目からみた世間の様子を描きました。自由で超然とした猫の佇まいは昔も今も変わらないようです。

現代では、村上春樹の小説にも猫が登場します。2019年の作品「猫を棄てる」では、幼少期に父と共に自転車で乗って猫を遠くに捨てて行ったのに、自宅に帰るとその猫が迎えてくれたという思い出が語られます。京都大学に入学しながら戦争のために好きな学問ができなかった父は、自分が果たせなかったことを託したかったのだらうと、一人息子の春樹は回想します。期待に反して小説家の道を歩む息子への失望、そして父子の激しい葛藤のため絶縁状態は20年以上も続きました。ようやく顔を合わせたのは父ががんで亡くなる少し前、京都の病院でささやかな会話があって、春樹は父と和解しました。考え方や世界の見方が全く違ってしまっている、そこには彼らを繋ぐ緑の様なものがあつたと春樹は言います。そしてそれは、例えばある夏の日に二人で一緒に遠く海岸まで雌猫を棄てて行き、共にその猫にあつさりとし抜かれてしまったという体験のような、ささやかなものごとの積み重ねが自分という人間を形作っているからなのです。

猫は日々の暮らしのどこにでもいる存在でありながら、見慣れた物事に何か少しだけ特別な意味を与える力を持っているような気もします。大分の誇る彫刻家も明治の文豪も、皆猫のいる日々の暮らしの中で作品を残しました。これを機に改めてこれらの作品を味わいたかったです。

以上で会長の時間を終わります。ありがとうございました。

幹事報告

永田幹事

1. 能登半島地震支援寄付について

1月10日の新春合同例会の幹事報告にもありましたが、膳所ガバナーより能登半島地震支援寄付への協力依頼があり、1月16日開催の理事会にて、大分ロータリークラブとしては会員一人あたり2,000円寄付することを決定しました。なお、その費用はニコボックスの特別会計から2,000円×会員数53名分の106,000円を支出いたします。

2. 福井ロータリークラブより

能登半島地震のお見舞メールのお返事が届きました。

例会はすでに通常に行われているとのこと。

理事会報告

2023-24年度 第12回臨時理事会 2024年1月16日(火)
馬場 山本 杉原 永田 佐藤信 福田 橋本均 鈴木 中野

1. 能登半島地震支援寄付金について

支援金寄付は強制ではなく、支援希望者または支援希望クラブのみ1月31日(水)まで支援金振込みを受付。

別途、2720地区からは「災害見舞積立金」より100万円支援金を送金。

(災害積立金は各会員上期下期200円ずつ、年間400円を地区へ支払いしている)

→大分ロータリークラブから一人2,000円を寄付する。費用は特別会計(ニコボックス)から支出する

会費検討委員会より

会費検討委員会の高山龍五郎委員長から提言が発表されました。

提言書は会員の皆様にお配りしていますのでご覧ください。

下期クラブ協議会

○クラブ管理運営委員会

浦川委員長

上半期活動報告

【親睦活動】

(1) 例会場入り口でS. A. A. とともにタスキをかけて立ち、会員ならびにゲスト、ビジターの歓迎と案内を行う。7月からは会場の広さも半分の元に戻った。

(2) 「野外家族例会」。9月10日(日)に実施。25名の会員と6名のご家族に参加いただき、「稲積水中鍾乳洞」「ロジきよかわ」での昼食、「藤居醸造」を巡り、会員とご家族の交流を図った。

- (3) 「新会員歓迎夜の例会」。10月17日(火)に会員42名の出席で開催。2023年4月～9月入会の方のうち、出席の7名の方にご挨拶頂き、入会記念品として額装した「4つのテスト」を贈呈。
- (4) 「親睦ゴルフコンペ」。11月11日(土)大分中央ゴルフクラブで実施。快晴のもと19名の会員にご参加頂いた。
- (5) 「クリスマス家族例会」。12月12日(火)に実施。会員38名、ご家族の参加16名、ファンダ奨学生1名の計55名で開催。バンドBambooBoysの素敵な演奏や、ビンゴ大会などの出し物で皆さんに楽しんでいただいた。

【例会プログラム】

今年度は会員の相互理解を深めるために会員卓話を中心に実施。9/26はゲスト卓話として「いくつものかたち」の木原代表にお話を頂いた。

下半期活動計画

- ◎「新会員歓迎夜の例会」4月9日(火)実施予定。
- ◎「親睦ゴルフコンペ」。4～5月頃にあと1回実施予定。

○公共イメージ委員会

尾野委員長

今年度の事業計画
【事業計画】 ～広報・会報・雑誌～

クラブ週報の制作

(1) クラブ週報を製作、配布するとともにロータリーの友やガバナー月信への関心を喚起する。

これから、子ども食堂視察地区ホームページ掲載予定

(2) 各委員会や会員の奉仕プロジェクトなど様々な奉仕活動を記録し、クラブホームページ、地区ホームページやロータリーの友などを活用して適宜広報する。

ホームページ更新の検討を行ったが制作費がかかりかたなず会費検討委員会の提言書を受けて、再び、週報ペーパレス化で経費削減と事務手間の最小限増を前提にしたシステムを今年度検討する

(3) 地区活動との連携をおこなう。

一時、イニシャルコスト増その後ランニングコスト減

2023年10月28日九州4地区合同公共イメージ合同事業地区事業「慈善市2720」に参加

2023年10月28日九州4地区合同 公共イメージ合同事業 地区事業「慈善市2720」に参加

ポリオ撲滅のバザーと募金活動を実施
ガレリア竹町広場 バザーと募金活動
中央通り歩行者天国 募金活動
同時にロータリークラブのイメージ向上

<当日参加>
馬場 ヒロ子会員
尾野 文俊 三浦 信子会員
佐藤 信彦会員
西野 誠会員
松井 保会員
船津 英利会員
間瀬 智也会員
仲摩 朋子さん
(仲摩副委員長の代理)

多くのバザー商品を提供
ありがとうございました

西野会員
楽しそう

多くのインター
アクト会員が参加

馬場会長バザー商品
クリスマス販売能力発揮

ロータリーショーケースで
成功したプロジェクトとして
世界へ広報を行った

ポリオ募金は成功
歩行者天国での事業実施で
ロータリークラブのインパクト
ある広報活動はできた
市民アンケートは回答が少なかったなどの反省もあり

クラブより寄付金額	246,000円
バザーの売上金	368,897円
街頭募金額	186,191円
合計	801,088円

○会員増強委員会

中村委員長

会員増強委員会では、会員数55名を目標にして活動しています。これまで交代会員4名の入会と新規会員3名(小手川会員、間瀬会員、荻原会員)に入

会いただき、現在53名となっています。目標まであと2名！鋭意勧誘活動を実施しており、1名は4月以降、あと1名は前向きに検討頂いています。なんとかあと半年、目標に辿り着くよう頑張ってお参りしますので会員各位の引き続きのご支援をよろしくお願いたします。

なお、2720地区ガバナー報告に23-24年度の会員の増減が掲載されていますが、交代会員の入退会のタイムラグもあり、なんと2720地区で第2位の新規会員獲得数となっています（ちなみに第一位は熊本ロータリーの13名）。これもひとえに会員の皆様のご協力の賜物です。今後ともよろしくお願いたします。

○職業奉仕委員会 今川委員長
コロナ対応により、直近では4年前に九州電力大分支部にて行われて以降、職場例会は開催されておりませんでした。

今年は大分エル・エヌ・ジー株式会社の須藤会員に、職場訪問を打診したところ快くお受けくださりました。3月5日の例会を予定しています。案内書につきましては近日中に配布予定をしています。

○国際奉仕委員会 松井委員長
国際奉仕委員会は今期方針に他の委員会とタイアップして活動するとしており、上期は10月28日(土)ガレリア竹町ドーム広場にて開催された、九州4地区合同公共イメージ向上事業「ポリオ根絶を願った募金活動・バザー」に参加しました。

下期活動として、2月3日(土)大分第4グループIM2014年度松本ガバナー講師の「ポリオのない世界を実現するために」とパネルディスカッションに参加します。

○ロータリー財団委員会 森若委員長
1 令和6年1月16日時点の年次基金・ポリオプラスの寄付が合計751,905円となっております。

(ポリオプラス183,015円、年次基金568,890円)

2 社会奉仕委員会と共同で行っている「フードバンクおおいだ」を通じた子ども食堂や児童養護施設に対する支援事業ですが、フードバンク大分(社会福祉協議会)の担当者の方々と打合せを行い、子ども食堂や児童養護施設のニーズを調査し、支援する物品(マヨネーズやカレーなど)などを選定しました。1月24日~25日に各施設に発送します。2月9日に鶴崎子ども食堂を訪問させていただくことになっています。

○米山記念奨学会・ファンド運営委員会 木村委員長

(1) 米山記念奨学会への寄付状況は以下の通りです。
普通寄付 上期 3,000円×47名=141,000円
(7/1付在籍者)

下期 3,000円×53名=159,000円
(1/1付在籍者)
(1月中旬に送金予定)

特別寄付(11月)個人40、法人6

個人 378,000円

法人 60,000円

合計 438,000円

(2) ファンド奨学生 2023年4月~2024年3月
キム ジュソンさん(韓国/日本文理大学)
ペレラ ガルヘーナゲ ウィヌリ ウデーシさん
(スリランカ/立命館アジア太平洋大学)

を受け入れており、2024年1月16日にファンド奨学生卓話を実施し、キムさんは、日本で多くの新しい体験をしたとの話をしてくれました。

もう1人のペレラさんは、体調不良で欠席されましたが、できれば別の機会に卓話の機会を設けたいと思います。

2024-2025年度の奨学生応募を受付中です。

<「下期クラブ協議会」後半は、誌面の都合により次号に掲載いたします>

////////////////////////////////////
ニコボックス 徳高S. A. A.
////////////////////////////////////

●大分城西RC
佐藤 憲幸 会員・神野 寛明 会員(2口)
今日は城西ロータリーの「日本の文化と職業体験」の件でおじゃまします。

●中村 直樹 会員(2口)
1/21(日)、大分支店で6年ぶりに開催したオール電化イベントに1,026人ももの来場者がありました。他の支店では400~500人程度ということでしたので、大変盛り上がりました。そして今回のイベントの目玉でもあったEV車の展示には日産の橋本会員、ヤマセの中野会員のご協力をいただきました。大変ありがとうございました。2口ニコボックスさせていただきます。

●麻生 益直 会員(1口)
今度の日曜日1月28日は九重町にある八鹿酒造の酒蔵で「極寒蔵開き」を行います。

純米酒のしぼりたてや様々なお酒が飲めます。飲めない方のために甘酒も用意しています。

食事は、おでん・天むすをはじめお酒のおつまみを用意しています。

極寒の九重町に来て熱燗で心から温まって下さい。因みに今朝あさ8時の気温は-1℃でした

JR九州のご協力、特急ゆふも恵良駅に臨時停車いたします。

盛会を祈念してニコボックスいたします。

お知らせ

■ 2月3日(出) 大分第4グループIM
 14:00～16:00 大分県消費生活男女共同参画プラザ
 「アイネス」2階 大会議室
 講師：国際ロータリー第2690地区
 2014-2015年度ガバナー 松本 祐二 氏
 (益田西RC)

高山会員 松井会員

■ 3月2日(出)～3日(日) 会長エレクト研修セミナー
 2日 13:00点鐘 18:30～20:30懇親会
 3日 9:00開会 12:00閉会
 セミナー会場：熊本城ホール
 懇親会会場：ホテル日航熊本 阿蘇D
 山本会長エレクト

例会予定

2月6日(火) ゲスト卓話 村上 洋一 氏
 (大分県デスティネーションキャンペーン
 実行委員会事務局 事務局長)
 「大分県デスティネーションキャン
 ペーンについて」

2月13日(火) 定款第7条第1節に基づく休会
 2月20日(火) 定款第7条第1節に基づく休会
 2月27日(火) ゲスト卓話 山出 淳也 氏
 (Yamaide Art Office(株) 代表取締役)
 「Oita Cultural Expo! '24」

3月5日(火) 職場例会
 【大分エル・エヌ・ジー株式会社】

3月12日(火) 夜間例会 18:30点鐘
 ホテル日航大分オアシスタワー3階 紅梅の間
 小手川会員卓話
 「イスラエルとウクライナ：バイデン
 政権も説得できない袋小路」

3月19日(火) 定款第7条第1節に基づく休会
 3月26日(火) ゲスト卓話 村田 潤 氏
 (大分市企画部次長兼スポーツ振興課長)
 「大分市のスポーツ行政について」

4月2日(火) 通常例会
 4月9日(火) 新会員歓迎夜の例会
 ホテル日航大分オアシスタワー3階 紅梅の間

18:30点鐘～例会行事～懇親会
 (出席8,000円 欠席4,000円 後日請求)

4月16日(火) 定款第7条第1節に基づく休会
 4月23日(火) 通常例会
 4月30日(火) 定款第7条第1節に基づく休会
 5月7日(火) 定款第7条第1節に基づく休会
 5月14日(火) 新・旧クラブ協議会
 5月21日(火) 地区大会報告／新年度クラブ協議会
 5月28日(火) 通常例会
 6月4日(火) 通常例会
 6月11日(火) 定款第7条第1節に基づく休会
 6月18日(火) 通常例会
 6月25日(火) さよなら夜の例会 18:30点鐘
 ホテル日航大分オアシスタワー3階 紅梅の間

例会変更

クラブ名	開催日	会場
大分城西	1/31(水)	ホテル日航大分オアシスタワー
別府北	2/7(水)	ホテル別府パストラル
別府	2/16(金)	両築別邸
大分臨海	2/26(月)	ホテル日航大分オアシスタワー
大分1985		トキハ会館
大分城西	2/28(水)	ホテル日航大分オアシスタワー

<<大分RAC例会>>

例会日
2月7日(水)・2月21日(水)

※RAC例会はメーカー対象です。出席希望の方はRACまたは事務局までお知らせください。

週報編集担当者	
2月6日号	船津英嗣
2月27日号	間瀬哲也
3月5日号	尾野文俊
3月12日号	仲摩和雄

四つのテストの歌

真実かどうか みんなに公平か
 好意と友情を深めるか
 みんなのためになるかどうか
 心がけよう四つのテスト

事務局

大分市府内町1丁目2-15 トキハ会館4F
 TEL 097 (532) 0611 FAX 097 (532) 8386
 E-mail oitarc@mist.ocn.ne.jp
 ホームページ <http://www.oita-rc.jp/>